10　情報

学校番号	１０１３

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	社会と情報（数研出版）						
副教材等	社会と情報　サポートノート（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・情報の収集・処理・発信などの実習を通じ、問題を見つけ、それを解決する力を身につけましょう。
・課題解決のために自ら情報を収集・判断し、表現する方法を考え、情報社会に主体的に参画する態度を身につけましょう。
・情報モラルや情報セキュリティの光と影の部分を体験的に認識し、実習や情報社会を支えるしくみの理解を通じ、情報を受け取る側の立場のことも考えながら情報発信できる力をつけましょう。

２ 学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解するとともに、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用した情報の収集、処理、表現ができる。また、活用を通じて効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身に付け、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 確認テスト 単元テスト レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 実技テスト 課題作品 発表 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 確認テスト 単元テスト 定期テスト 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
1学期	序編 情報とメディア 実習 コンピュータの基本操作・文書作成 第1編 情報社会と情報モラル	○情報とメディア ・情報とは ・メディアとは ・情報のディジタル化 ・インターネットの活用 ○情報社会と情報モラル ・情報社会の光と影 ・情報セキュリティの確保 ○コンピュータの基本操作・文書作成 ・タイピング、Word の基本操作(実習)	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:情報化が社会に及ぼす影響について積極的に理解しようとしている。 b:メディアリテラシーを身に付け、情報を取り扱う判断力と表現力がある。実習において、適切な活用方法について思考・判断・表現することができる。 c:文書作成ソフトを活用し、適切に処理・表現する技能を身につけている。 d:情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 確認テスト 実習作品 定期考査
2学期	第1編 情報社会と情報モラル 第2編 ディジタル情報と情報の活用 実習 表計算	・情報社会における法と個人の責任 ○ディジタル情報と情報の活用 ・コンピュータのしくみ ・情報のディジタル表現 ・情報の表現と伝達 ○Excel の基本操作・表計算(実習)	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:法と個人の責任、コンピュータの仕組みに興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。 b:知的財産権の権利の相違の判断ができ、情報のディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。実習において、適切な活用方法について思考・判断・表現することができる。 c:表計算ソフトを活用し、適切に処理・表現する技能を身につけている。 d:ディジタル化の知識と技術、情報機器の特徴と役割を理解し、ディジタル化された情報が統合的に扱えることを理解している。	授業観察 ノート ワークシート 確認テスト 実習作品 定期考査
3学期	第3編 情報通信ネットワーク・ 第4編 望ましい情報社会の構築 実習 プレゼンテーション	○情報通信ネットワーク ・コミュニケーション手段の発達 ・インターネットのしくみ ○望ましい情報社会の構築 ・情報システムと人間 ・問題解決 ○PowerPoint の基本操作(実習) ・プレゼンテーション	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:コミュニケーション手段の発達と変遷を理解し、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解している。 b:効果的なコミュニケーションの方法について考え、判断することができる。 c:プレゼンテーションソフトを活用し、適切に処理・表現する技能を身につけている。 d:効果的なコミュニケーション方法を習得し、情報の受信・発信時に配慮すべき事項を理解している。	授業観察 ワークシート 発表 実習作品 定期考査

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。